

若竹保育園

平成 29 年度 5 歳児 つばめ 組	2 月 指 導 計 画	園長	主任	担任
---------------------	-------------	----	----	----

月のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 冬の衛生的な環境に留意し、一人ひとりの就学への期待や不安を受け止めながら、自信をもって生活できるようにする。 友だちとお互いの良さを認め合いながら、遊びや生活を進める楽しさを味わう。 	基礎的事項	<ul style="list-style-type: none"> 室温や換気に注意し、体を十分に動かしながら、健康に過ごせるよう心がける。 インフルエンザや風邪予防のため、手洗いうがいを徹底する。
-------	--	-------	--

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28				
曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水				
行事	戸外遊び	豆まき	合同保育	/	卒園式練習	戸外遊び	絵画指導	戸外遊び	戸外遊び	戸外遊び	合同保育	/	/	絵画指導	戸外遊び	わらべうた	お店屋さんごっこ	誕生会	合同保育	/	戸外遊び	絵画指導	戸外遊び	雪遊び保育	雪遊び保育	戸外遊び	合同保育	/	戸外遊び	戸外遊び	避難訓練	おかし作り

内 容	環 境 構 成	予想される子どもの姿	配 慮 事 項
<p>○自分の体に関心を持ち、健康な生活習慣や態度を身に着ける。</p> <p>○友だちや、保育者と話し合いながら協力してやり遂げようとする。(お店屋さんごっこ)</p> <p>○年長児として年下の子たちの手伝いをしたり、丁寧に教えようとする。(お店屋さんごっこ・おかし作り)</p> <p>○遊びの中で雪に触れ、冬の自然に興味・関心を持つ。(雪遊び保育)</p> <p>○文字や数字に関心を持ち、生活や遊びに取り入れて楽しむ。</p> <p>○廃材を使って、想像力を広げながら、自由に表現遊びを楽しむ。</p> <p>◎就学に向けて、全員の準備がそろい次第「いただきます」をする。</p> <p>※「◎」は食育</p>	<p>○手洗いの方法を水道の前に掲示したり、自分で見ながら行える環境を作っていく。</p> <p>○子どもたちがじっくりと考えて話し合えるような時間と場所を確保する。</p> <p>○異年齢でのグループを作り、交流を楽しんだり、年長児としての自覚を持てるようにする。</p> <p>○雪はどのような場所で降るのかなど、冬の自然についての絵本や図鑑を準備し、調べられるようにする。</p> <p>○自由に文字をかけるよう環境を整えたり、部屋に秤を置き、目盛りの数字や重さに興味を持てるようにする。</p> <p>○はさみやのり、空き箱やトイレットペーパーの芯などの素材を用意しておく。続きができるよう飾れるスペースも確保する。</p> <p>◎時間を意識できるように見やすいところに時計を置く。就学を意識できるような声掛けをする。</p>	<p>○手洗いの方法などを確認しながら、自分で行おうとする。㊲㊱</p> <p>○自分の想像するお店屋さんの意見を伝え合いながらどのようなお店屋さんにするか決めていく。㊱㊲㊳㊴㊵</p> <p>○困っている子に気づき、声をかけてあげたり手伝おうとする。㊶㊷</p> <p>○雪遊び保育の前に雪について調べる子がいたり、雪にたくさん触れてから、雪に興味を持ち調べようとする子もいる。㊸</p> <p>○引き続き手紙交換を楽しむ。また秤の数字にも興味を持ち、様々な重さを量ろうとする。㊹㊺㊻</p> <p>○自分の作りたいものを考えながら、様々な素材を使い製作を楽しむ。㊼</p> <p>◎時間や周りの子の状況を意識しながら、食事の準備をする。㊽㊾㊿</p>	<p>○進んで行う姿は大いに誉めて、周りの子どもたちも意識して行えるようにする。</p> <p>○子どもたちが主体的に意見を出し合えるよう見守るが、必要なことはその都度伝えていく。</p> <p>○グループをまとめようとする姿を見守りながら、必要に応じて声掛けをする。</p> <p>○冬の自然に触れ、不思議に思ったことや発見したことを受け止め、感動を共感して遊びを広げる。</p> <p>○子ども達の興味が続く、様々な発見や驚きの姿を見逃さず、文字や数字に触れる機会を取り入れていく。</p> <p>○用具の使い方、制作したものの保管の仕方をその都度伝え、作って終わりではなく、そこから発展できるようにしていく。</p> <p>◎準備の手が止まっている子には周りの子の様子を伝え、どうしたらいいのか気付けるように声を掛ける。</p>

<p>家族との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 雪遊び保育卒園準備等必要なことをその都度知らせていく。 就学前の子供たちの様子、成長の様子を保護者に伝える。 	<p>個別的配慮</p>	<p>小学校・地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 若松小学校訪問(3回目)予定。子どもたちが小学校で何をしたいのか決めてから、その目的に沿って訪問する。 	<p>反省</p>
---	--------------	---	-----------

【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】 ア. 健康な心と体 イ. 自立心 ウ. 協同性 エ. 道徳性・基本意識の芽生え オ. 社会生活との関わり カ. 思考力の芽生え
 キ. 自然との関わり ク. 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ケ. 言葉による伝えあい コ. 豊かな感性と表現